

# ダイワ短期国際機関債ファンド (毎月分配型)－成長の絆－ (年2回決算型)－成長の絆(年2回)－

## 運用報告書 (全体版)

毎月分配型  
第115期 (決算日 2024年8月21日)  
第116期 (決算日 2024年9月24日)  
第117期 (決算日 2024年10月21日)  
第118期 (決算日 2024年11月21日)  
第119期 (決算日 2024年12月23日)  
満期償還 (償還日 2025年1月21日)  
年2回決算型 満期償還 (償還日 2025年1月21日)  
(作成対象期間 2024年7月23日～2025年1月21日)

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	毎月分配型	2015年1月22日～2025年1月21日
	年2回決算型	2015年10月15日～2025年1月21日
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ短期国際機関債マザーファンドの受益証券
	ダイワ短期国際機関債マザーファンド	新興国通貨建ての国際機関債
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5649>  
<2702>

（毎月分配型）－成長の絆－

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM ブロード ダイバーシファイド (円換算) (参考指数)		公社債 組入比率	債券先物 比率	純総 資産額
	(分配落)	税込 み金 分配	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
91 期末(2022年 8 月22日)	6,041	20	0.5	11,328	2.0	96.0	—	804
92 期末(2022年 9 月21日)	6,259	20	3.9	11,706	3.3	95.6	—	806
93 期末(2022年10月21日)	6,362	20	2.0	11,687	△0.2	93.1	—	806
94 期末(2022年11月21日)	6,164	20	△2.8	11,473	△1.8	94.8	—	764
95 期末(2022年12月21日)	5,874	20	△4.4	11,097	△3.3	93.3	—	725
96 期末(2023年 1 月23日)	5,913	20	1.0	11,351	2.3	93.5	—	720
97 期末(2023年 2 月21日)	6,028	20	2.3	11,566	1.9	93.8	—	733
98 期末(2023年 3 月22日)	5,940	20	△1.1	11,471	△0.8	94.6	—	708
99 期末(2023年 4 月21日)	6,209	20	4.9	11,980	4.4	95.5	—	734
100 期末(2023年 5 月22日)	6,273	20	1.4	12,263	2.4	95.5	—	732
101 期末(2023年 6 月21日)	6,678	20	6.8	12,902	5.2	95.4	—	772
102 期末(2023年 7 月21日)	6,712	20	0.8	13,039	1.1	95.5	—	765
103 期末(2023年 8 月21日)	6,762	20	1.0	13,129	0.7	94.3	—	752
104 期末(2023年 9 月21日)	6,854	20	1.7	13,354	1.7	94.9	—	753
105 期末(2023年10月23日)	6,862	20	0.4	13,053	△2.3	94.7	—	746
106 期末(2023年11月21日)	7,085	20	3.5	13,665	4.7	70.4	—	760
107 期末(2023年12月21日)	6,897	20	△2.4	13,487	△1.3	94.5	—	721
108 期末(2024年 1 月22日)	7,028	20	2.2	13,830	2.5	93.7	—	732
109 期末(2024年 2 月21日)	7,132	20	1.8	14,022	1.4	95.4	—	704
110 期末(2024年 3 月21日)	7,221	20	1.5	14,107	0.6	95.5	—	703
111 期末(2024年 4 月22日)	7,247	20	0.6	14,113	0.0	94.2	—	658
112 期末(2024年 5 月21日)	7,555	20	4.5	14,768	4.6	94.8	—	673
113 期末(2024年 6 月21日)	7,485	20	△0.7	14,642	△0.9	93.9	—	665
114 期末(2024年 7 月22日)	7,486	20	0.3	14,763	0.8	94.8	—	651
115 期末(2024年 8 月21日)	7,032	20	△5.8	14,148	△4.2	93.8	—	607
116 期末(2024年 9 月24日)	6,996	20	△0.2	14,276	0.9	93.7	—	602
117 期末(2024年10月21日)	7,116	20	2.0	14,491	1.5	94.3	—	606
118 期末(2024年11月21日)	7,234	20	1.9	14,693	1.4	93.5	—	609
119 期末(2024年12月23日)	7,117	20	△1.3	14,714	0.1	—	—	556
償還(2025年 1 月21日)	7,109.05	—	△0.1	14,641	△0.5	—	—	504

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロード ダイバーシファイド (円換算) は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率・売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：7,109円05銭（既払分配金3,910円）

騰落率：24.5%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました（分配金再投資ベース）。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型）－成長の絆－

	年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EM ブロード ダイバーシファイド (円 換 算) (参考指数)		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率		騰 落 率		
第115期	(期首) 2024年 7月22日	円 7,486	% -	14,763	% -	% 94.8	% -
	7月末	7,178	△4.1	14,251	△3.5	93.5	-
	(期末) 2024年 8月21日	7,052	△5.8	14,148	△4.2	93.8	-
第116期	(期首) 2024年 8月21日	7,032	-	14,148	-	93.8	-
	8月末	6,928	△1.5	14,001	△1.0	94.1	-
	(期末) 2024年 9月24日	7,016	△0.2	14,276	0.9	93.7	-
第117期	(期首) 2024年 9月24日	6,996	-	14,276	-	93.7	-
	9月末	6,986	△0.1	14,278	0.0	93.5	-
	(期末) 2024年10月21日	7,136	2.0	14,491	1.5	94.3	-
第118期	(期首) 2024年10月21日	7,116	-	14,491	-	94.3	-
	10月末	7,255	2.0	14,676	1.3	93.6	-
	(期末) 2024年11月21日	7,254	1.9	14,693	1.4	93.5	-
第119期	(期首) 2024年11月21日	7,234	-	14,693	-	93.5	-
	11月末	7,013	△3.1	14,276	△2.8	93.4	-
	(期末) 2024年12月23日	7,137	△1.3	14,714	0.1	-	-
償 還 期	(期首) 2024年12月23日	7,117	-	14,714	-	-	-
	12月末	7,115	△0.0	14,812	0.7	-	-
	(償還) 2025年 1月21日	7,109.05	△0.1	14,641	△0.5	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 設定以来の投資環境について

(2015.1.22～2025.1.21)

### ■債券市況

新興国債券市場では、国ごとの個別要因などにより、金利は国によってまちまちな動きとなりました。

当ファンド設定日から2015年末にかけては、米国の金融引き締めに対する思惑といった外部要因に加えて、各国の政治・財政状況の影響を受け、新興国の多くで金利は上昇（債券価格は下落）しました。2016年から2020年末にかけては、世界的な低金利・低インフレ環境に加え、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした各国の金融緩和などにより、新興国の多くで金利は低下（債券価格は上昇）しました。2021年以降は、原油価格の上昇や物資の供給制約などから世界的にインフレ圧力が高まり、各国で利上げが実施されたことなどから、新興国の多くで金利は上昇しました。2024年半ば以降は、各国のインフレの落ち着きや米国で利下げが開始されたことなどを背景に、新興国の多くで金利は低下に転じましたが、財政懸念などの個別要因から金利が上昇する国もみられました。

### ■為替相場

新興国為替相場では、国ごとの個別要因などにより、新興国通貨は対円でまちまちな動きとなりました。

当ファンド設定日から2016年半ばにかけては、中国の景気減速懸念が高まったことや英国のEU（欧州連合）離脱などから、市場のリスク回避姿勢が強まり、新興国通貨の多くが対円で下落（円高）しました。2016年後半から2017年末にかけては、米国大統領選挙でトランプ氏が勝利し、同氏の経済政策への期待感から市場のリスク選好度が強まったことに加え、世界的に景気が安定して推移したことなどから、新興国通貨の多くが対円で上昇（円安）しました。2018年から2020年末にかけては、米中貿易摩擦への懸念が高まったことや新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、新興国通貨の多くが対円で下落しました。2021年以降は、世界的に利上げが実施される中で日本と他国との金利差が拡大したことなどから、新興国通貨の多くが対円で上昇しました。2024年7月以降は、日銀が金融政策決定会合において緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことや、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、新興国通貨の多くが対円で下落しました。

## 信託期間中の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を通じて、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

## 信託期間中のポートフォリオについて

(2015.1.22～2025.1.21)

### ■当ファンド

信託期間を通じて「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

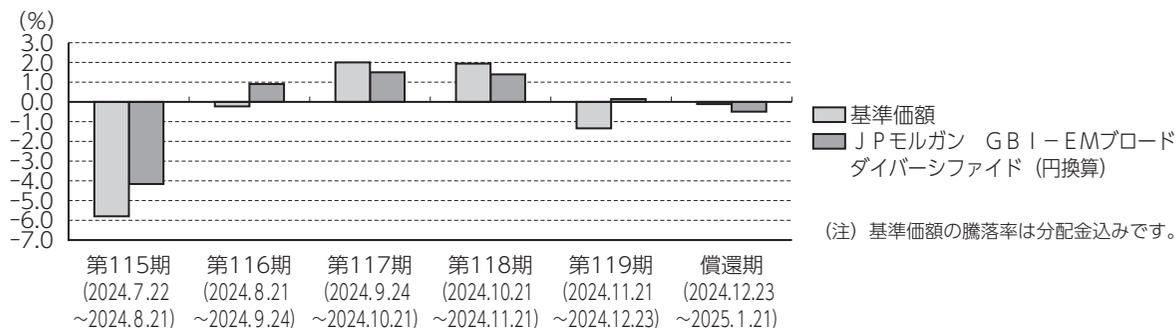
### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

- ・当ファンドでは、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。
- ・組入通貨は、欧州地域では当ファンド設定時より2017年2月まではトルコ・リラとポーランド・ズロチ、2月以降はトルコ・リラとロシア・ルーブルとしました。その後、2022年2月にトルコ・リラを除外し、ポーランド・ズロチを再び組み入れました。また3月にロシア・ルーブルを除外し、ポーランド・ズロチに追加配分しました。中東・アフリカ地域では当ファンド設定時より南アフリカ・ランド、ナイジェリア・ナイラに投資しましたが、保有していた債券の償還をもって2017年にナイジェリア・ナイラへの投資を中止して南アフリカ・ランドに追加配分しました。アジア地域ではインド・ルピー、インドネシア・ルピア、中南米地域ではメキシコ・ペソ、ブラジル・リアルに投資しました。配分については、各地域へおおむね均等になるように投資しました。
- ・債券ポートフォリオについては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り、第3期～第71期各40円、第72期～第90期各30円、第91期～第119期各20円の収益分配を行いました。なお、第1期～第2期は、分配方針通り、収益分配を行いませんでした。

また、第115期～第119期の収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたしました。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期
	2024年7月23日 ～2024年8月21日	2024年8月22日 ～2024年9月24日	2024年9月25日 ～2024年10月21日	2024年10月22日 ～2024年11月21日	2024年11月22日 ～2024年12月23日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>
対基準価額比率（％）	0.28	0.29	0.28	0.28	0.28
当期の収益（円）	20	20	20	20	18
当期の収益以外（円）	－	－	－	－	1
翌期繰越分配対象額（円）	287	294	303	316	314

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 25.26円	✓ 26.77円	✓ 29.23円	✓ 32.17円	✓ 18.73円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	40.07	40.22	40.37	40.52	40.67
(d) 分配準備積立金	242.59	247.72	254.35	263.44	✓ 275.48
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	307.94	314.72	323.96	336.15	334.89
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	287.94	294.72	303.96	316.15	314.89

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第115期～償還期 (2024.7.23～2025.1.21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	52円	0.736%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,096円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0.330)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.385)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	53	0.745	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

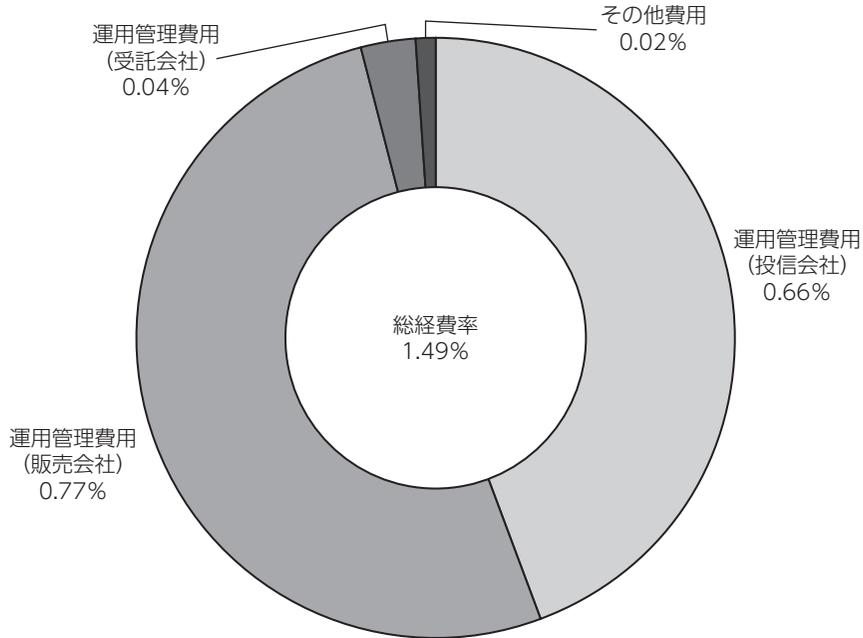
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.49%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型）－成長の絆－

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年7月23日から2025年1月21日まで)

決算期	第115期～償還期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	291	406	435,215	628,737

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種類	第114期末
	□数
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	千口 434,924

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年1月21日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	505,752	100.0
投資信託財産総額	505,752	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年8月21日)、(2024年9月24日)、(2024年10月21日)、(2024年11月21日)、(2024年12月23日)、(2025年1月21日)現在

項目	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	第119期末	償還時
<b>(A) 資産</b>	<b>610,091,888円</b>	<b>604,822,703円</b>	<b>609,118,406円</b>	<b>611,790,092円</b>	<b>570,559,506円</b>	<b>505,752,488円</b>
コール・ローン等	5,330,332	5,199,844	5,159,319	5,331,276	5,347,779	505,749,274
ダイワ短期国際機関債マザーファンド(評価額)	604,761,556	599,622,859	603,959,087	606,458,816	553,257,205	－
未収入金	－	－	－	－	11,954,522	－
未収利息	－	－	－	－	－	3,214
<b>(B) 負債</b>	<b>2,475,062</b>	<b>2,539,489</b>	<b>2,369,857</b>	<b>2,453,156</b>	<b>14,484,347</b>	<b>883,322</b>
未払収益分配金	1,728,040	1,721,777	1,705,403	1,684,743	1,562,688	－
未払解約金	－	－	－	－	12,156,619	245,949
未払信託報酬	747,022	817,712	664,454	768,413	765,040	637,373
<b>(C) 純資産総額(A－B)</b>	<b>607,616,826</b>	<b>602,283,214</b>	<b>606,748,549</b>	<b>609,336,936</b>	<b>556,075,159</b>	<b>504,869,166</b>
元本	864,020,466	860,888,553	852,701,965	842,371,560	781,344,413	710,178,038
次期繰越損益金	△256,403,640	△258,605,339	△245,953,416	△233,034,624	△225,269,254	－
償還差損益金	－	－	－	－	－	△205,308,872
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>864,020,466口</b>	<b>860,888,553口</b>	<b>852,701,965口</b>	<b>842,371,560口</b>	<b>781,344,413口</b>	<b>710,178,038口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	7,032円	6,996円	7,116円	7,234円	7,117円	－
1万口当り償還価額(C/D)	－	－	－	－	－	7,109円05銭

\* 当作成期首における元本額は869,949,677円、当作成期間(第115期～償還期)中における追加設定元本額は2,741,114円、同解約元本額は162,512,753円です。

\* 償還時の計算口数当りの純資産額は7,109円05銭です。

\* 償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は205,308,872円です。

■損益の状況

第115期 自2024年7月23日 至2024年8月21日 第118期 自2024年10月22日 至2024年11月21日  
 第116期 自2024年8月22日 至2024年9月24日 第119期 自2024年11月22日 至2024年12月23日  
 第117期 自2024年9月25日 至2024年10月21日 償還期 自2024年12月24日 至2025年1月21日

項目	第 115 期	第 116 期	第 117 期	第 118 期	第 119 期	償 還 期
(A) 配当等収益	494円	665円	541円	653円	676円	3,743円
受取利息	494	665	541	653	676	3,743
(B) 有価証券売買損益	△ 36,717,448	△ 591,919	12,561,693	12,391,511	△ 6,790,723	76,627
売買益	299,349	6,183	12,699,911	12,541,973	540,778	55,610
売買損	△ 37,016,797	△ 598,102	△ 138,218	△ 150,462	△ 7,331,501	21,017
(C) 信託報酬等	△ 747,022	△ 817,712	△ 664,454	△ 768,413	△ 765,040	△ 637,373
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 37,463,976	△ 1,408,966	11,897,780	11,623,751	△ 7,555,087	△ 557,003
(E) 前期繰越損益金	△175,298,026	△213,588,906	△214,533,231	△201,757,987	△177,830,547	△169,840,618
(F) 追加信託差損益金	△ 41,913,598	△ 41,885,690	△ 41,612,562	△ 41,215,645	△ 38,320,932	△ 34,911,251
(配当等相当額)	( 3,462,742)	( 3,463,037)	( 3,443,139)	( 3,413,738)	( 3,177,838)	( 2,897,635)
(売買損益相当額)	(△ 45,376,340)	(△ 45,348,727)	(△ 45,055,701)	(△ 44,629,383)	(△ 41,498,770)	(△ 37,808,886)
(G) 合計(D + E + F)	△254,675,600	△256,883,562	△244,248,013	△231,349,881	△223,706,566	△205,308,872
(H) 収益分配金	△ 1,728,040	△ 1,721,777	△ 1,705,403	△ 1,684,743	△ 1,562,688	－
次期繰越損益金(G+H)	△256,403,640	△258,605,339	△245,953,416	△233,034,624	△225,269,254	－
追加信託差損益金	△ 41,913,598	△ 41,885,690	△ 41,612,562	△ 41,215,645	△ 38,320,932	－
(配当等相当額)	( 3,462,742)	( 3,463,037)	( 3,443,139)	( 3,413,738)	( 3,177,838)	( ー)
(売買損益相当額)	(△ 45,376,340)	(△ 45,348,727)	(△ 45,055,701)	(△ 44,629,383)	(△ 41,498,770)	( ー)
分配準備積立金	21,416,197	21,909,737	22,476,353	23,218,211	21,426,275	－
繰越損益金	△235,906,239	△238,629,386	△226,817,207	△215,037,190	△208,374,597	－
償還差損益金(G)	－	－	－	－	－	△205,308,872

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 第115期～第119期の収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第 115 期	第 116 期	第 117 期	第 118 期	第 119 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,183,297円	2,305,292円	2,493,059円	2,710,702円	1,463,942円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	3,462,742	3,463,037	3,443,139	3,413,738	3,177,838
(d) 分配準備積立金	20,960,940	21,326,222	21,688,697	22,192,252	21,525,021
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	26,606,979	27,094,551	27,624,895	28,316,692	26,166,801
(f) 分配金	1,728,040	1,721,777	1,705,403	1,684,743	1,562,688
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	24,878,939	25,372,774	25,919,492	26,631,949	24,604,113
(h) 受益権総口数	864,020,466口	860,888,553口	852,701,965口	842,371,560口	781,344,413口

## 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2015年1月22日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2025年1月21日		資産総額	505,752,488円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	883,322円
				純資産総額	504,869,166円
受益権口数	18,087,222,208口	710,178,038口	△17,377,044,170口	受益権口数	710,178,038口
元本額	18,087,222,208円	710,178,038円	△17,377,044,170円	1単位当り償還金	7,109円05銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	18,466,962,331	18,062,950,294	9,781	0	0.00
第2期	18,528,527,537	17,729,129,995	9,569	0	0.00
第3期	18,700,259,108	17,762,223,391	9,498	40	0.40
第4期	18,685,294,258	18,219,271,333	9,751	40	0.40
第5期	18,656,018,263	18,081,969,949	9,692	40	0.40
第6期	18,368,977,845	17,767,670,515	9,673	40	0.40
第7期	18,181,433,267	16,734,041,576	9,204	40	0.40
第8期	18,060,900,775	15,541,903,387	8,605	40	0.40
第9期	17,631,356,952	15,673,395,277	8,890	40	0.40
第10期	17,365,069,792	15,592,689,998	8,979	40	0.40
第11期	17,194,049,350	14,814,385,728	8,616	40	0.40
第12期	16,463,382,695	13,018,081,321	7,907	40	0.40
第13期	14,721,166,402	11,556,240,797	7,850	40	0.40
第14期	13,643,155,870	11,110,010,256	8,143	40	0.40
第15期	12,371,689,123	10,077,843,586	8,146	40	0.40
第16期	11,378,114,338	8,811,519,159	7,744	40	0.40
第17期	10,457,904,729	7,693,923,452	7,357	40	0.40
第18期	9,605,385,036	7,331,747,331	7,633	40	0.40
第19期	9,162,713,082	6,708,960,776	7,322	40	0.40
第20期	8,595,070,288	6,281,606,377	7,308	40	0.40
第21期	8,237,316,786	6,083,320,966	7,385	40	0.40
第22期	7,684,095,860	5,710,149,698	7,431	40	0.40
第23期	7,336,850,081	5,804,579,186	7,912	40	0.40
第24期	7,235,090,362	5,583,602,897	7,717	40	0.40
第25期	6,909,715,471	5,428,185,401	7,856	40	0.40

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1 単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第26期	6,665,026,452	5,340,707,613	8,013	40	0.40
第27期	6,206,994,635	4,866,565,316	7,840	40	0.40
第28期	5,963,815,448	4,772,001,559	8,002	40	0.40
第29期	5,708,365,785	4,541,376,364	7,956	40	0.40
第30期	5,559,642,345	4,532,014,630	8,152	40	0.40
第31期	5,388,380,188	4,263,440,652	7,912	40	0.40
第32期	5,104,856,602	4,159,757,678	8,149	40	0.40
第33期	4,944,053,791	3,962,075,598	8,014	40	0.40
第34期	4,795,806,888	3,718,903,990	7,754	40	0.40
第35期	4,676,606,177	3,746,566,031	8,011	40	0.40
第36期	4,609,555,019	3,718,387,257	8,067	40	0.40
第37期	4,559,050,577	3,570,542,979	7,832	40	0.40
第38期	4,439,951,542	3,388,734,550	7,632	40	0.40
第39期	4,247,314,088	3,208,786,323	7,555	40	0.40
第40期	4,189,388,678	3,084,514,713	7,363	40	0.40
第41期	4,091,814,921	2,914,611,568	7,123	40	0.40
第42期	4,010,029,314	2,898,569,034	7,228	40	0.40
第43期	3,885,867,364	2,618,188,658	6,738	40	0.40
第44期	3,855,893,689	2,642,044,547	6,852	40	0.40
第45期	3,782,155,105	2,626,303,241	6,944	40	0.40
第46期	3,669,262,694	2,596,172,729	7,075	40	0.40
第47期	3,522,233,483	2,459,993,942	6,984	40	0.40
第48期	3,459,533,660	2,436,738,432	7,044	40	0.40
第49期	3,329,220,745	2,364,434,515	7,102	40	0.40
第50期	3,295,658,693	2,341,638,331	7,105	40	0.40
第51期	2,970,051,006	2,104,353,312	7,085	40	0.40
第52期	2,906,158,385	1,982,494,319	6,822	40	0.40
第53期	2,747,570,225	1,878,163,029	6,836	40	0.40
第54期	2,679,138,584	1,876,796,721	7,005	40	0.40
第55期	2,642,397,861	1,729,206,948	6,544	40	0.40
第56期	2,619,763,688	1,767,432,016	6,747	40	0.40
第57期	2,598,798,889	1,767,702,180	6,802	40	0.40
第58期	2,551,534,455	1,731,208,170	6,785	40	0.40
第59期	2,471,221,630	1,716,969,858	6,948	40	0.40

ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型）－成長の絆－

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1 単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第60期	2,446,428,305	1,716,337,307	7,016	40	0.40
第61期	2,432,169,761	1,683,607,215	6,922	40	0.40
第62期	2,406,989,235	1,394,194,181	5,792	40	0.40
第63期	2,306,137,927	1,294,385,053	5,613	40	0.40
第64期	2,303,567,632	1,333,558,817	5,789	40	0.40
第65期	2,282,866,837	1,339,767,907	5,869	40	0.40
第66期	2,277,640,720	1,343,315,691	5,898	40	0.40
第67期	2,240,861,927	1,269,980,452	5,667	40	0.40
第68期	2,228,058,611	1,255,233,992	5,634	40	0.40
第69期	2,137,842,975	1,207,731,904	5,649	40	0.40
第70期	2,115,245,997	1,217,348,648	5,755	40	0.40
第71期	2,108,376,332	1,229,515,405	5,832	40	0.40
第72期	2,021,005,256	1,175,273,728	5,815	30	0.30
第73期	1,941,127,560	1,144,963,549	5,898	30	0.30
第74期	1,934,171,976	1,146,000,226	5,925	30	0.30
第75期	1,867,765,107	1,098,716,829	5,883	30	0.30
第76期	1,828,831,737	1,100,665,150	6,018	30	0.30
第77期	1,793,850,053	1,079,472,467	6,018	30	0.30
第78期	1,730,445,312	1,027,552,543	5,938	30	0.30
第79期	1,706,961,487	996,776,277	5,839	30	0.30
第80期	1,647,574,209	972,611,891	5,903	30	0.30
第81期	1,595,527,562	977,648,962	6,127	30	0.30
第82期	1,565,057,289	905,610,348	5,786	30	0.30
第83期	1,548,383,490	866,350,135	5,595	30	0.30
第84期	1,516,898,089	863,045,632	5,690	30	0.30
第85期	1,488,347,028	861,435,537	5,788	30	0.30
第86期	1,457,867,460	837,857,310	5,747	30	0.30
第87期	1,439,454,803	884,921,474	6,148	30	0.30
第88期	1,426,190,790	847,272,327	5,941	30	0.30
第89期	1,368,812,757	839,372,131	6,132	30	0.30
第90期	1,353,370,390	816,204,824	6,031	30	0.30
第91期	1,331,938,927	804,683,992	6,041	20	0.20
第92期	1,289,104,376	806,839,878	6,259	20	0.20
第93期	1,267,081,127	806,178,888	6,362	20	0.20

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1 単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第94期	1,240,579,834	764,676,909	6,164	20	0.20
第95期	1,235,594,626	725,755,465	5,874	20	0.20
第96期	1,219,162,827	720,917,447	5,913	20	0.20
第97期	1,216,619,601	733,434,971	6,028	20	0.20
第98期	1,192,997,454	708,586,402	5,940	20	0.20
第99期	1,183,247,851	734,713,378	6,209	20	0.20
第100期	1,168,105,151	732,759,323	6,273	20	0.20
第101期	1,157,155,289	772,769,047	6,678	20	0.20
第102期	1,139,785,858	765,033,028	6,712	20	0.20
第103期	1,113,503,031	752,920,331	6,762	20	0.20
第104期	1,099,230,004	753,382,385	6,854	20	0.20
第105期	1,087,783,480	746,431,261	6,862	20	0.20
第106期	1,073,884,925	760,845,337	7,085	20	0.20
第107期	1,045,555,857	721,128,414	6,897	20	0.20
第108期	1,042,211,775	732,449,126	7,028	20	0.20
第109期	988,063,639	704,658,492	7,132	20	0.20
第110期	973,876,065	703,210,011	7,221	20	0.20
第111期	908,299,683	658,200,399	7,247	20	0.20
第112期	891,364,240	673,394,568	7,555	20	0.20
第113期	889,568,649	665,852,958	7,485	20	0.20
第114期	869,949,677	651,248,552	7,486	20	0.20
第115期	864,020,466	607,616,826	7,032	20	0.20
第116期	860,888,553	602,283,214	6,996	20	0.20
第117期	852,701,965	606,748,549	7,116	20	0.20
第118期	842,371,560	609,336,936	7,234	20	0.20
第119期	781,344,413	556,075,159	7,117	20	0.20

(注) 1 単位は受益権 1 万口。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ					
	第 115 期	第 116 期	第 117 期	第 118 期	第 119 期
1万口当り分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

償 還 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 償 還 金	7,109円05銭

（年2回決算型）－成長の絆（年2回）－

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM ブロードダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
15期末(2023年1月23日)	9,598	50	0.1	12,466	2.2	93.3	－	18
16期末(2023年7月21日)	10,900	200	15.6	14,319	14.9	95.2	－	20
17期末(2024年1月22日)	11,378	230	6.5	15,188	6.1	93.4	－	10
18期末(2024年7月22日)	12,031	290	8.3	16,212	6.7	94.6	－	12
償還(2025年1月21日)	11,591.59	－	△ 3.7	16,078	△ 0.8	－	－	12

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMブロードダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマーシング・マーケットズブロードダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマーシング・マーケットズブロードダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

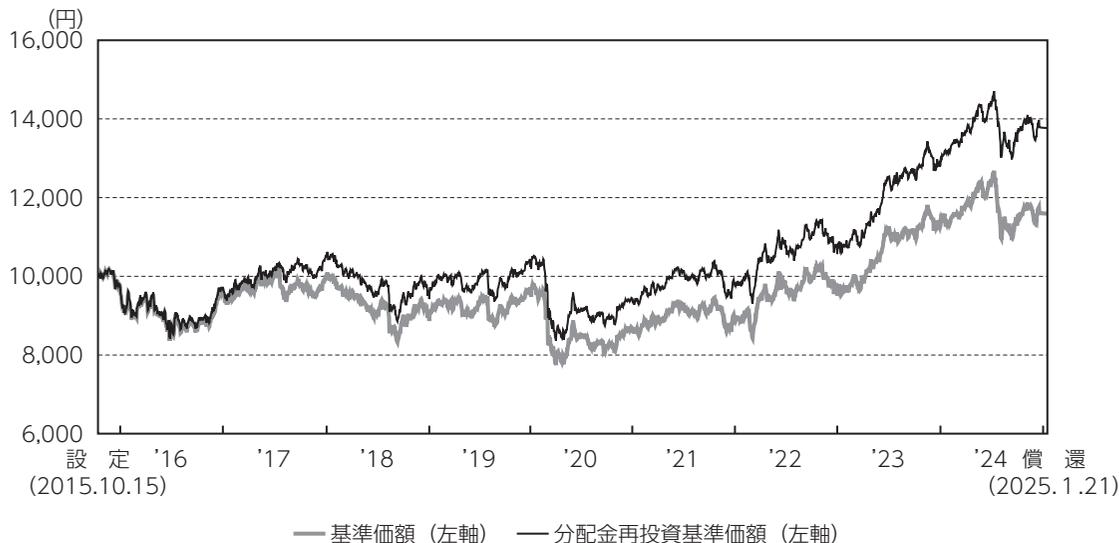
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：11,591円59銭（既払分配金1,760円）

騰落率：37.7%（分配金再投資ベース）

#### ■基準価額の主な変動要因

投資している債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ード ダイ バ ー シ フ ァ イ ド ( 円 換 算 )		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	( 参 考 指 数 )	騰 落 率		
(期首) 2024年 7 月22日	円 12,031	% -	16,212	% -	% 94.6	% -
7 月 末	11,540	△4.1	15,650	△3.5	93.2	-
8 月 末	11,172	△7.1	15,376	△5.2	93.8	-
9 月 末	11,298	△6.1	15,680	△3.3	93.2	-
10 月 末	11,764	△2.2	16,117	△0.6	93.3	-
11 月 末	11,404	△5.2	15,677	△3.3	93.2	-
12 月 末	11,601	△3.6	16,267	0.3	-	-
(償還) 2025年 1 月21日	11,591.59	△3.7	16,078	△0.8	-	-

(注) 騰落率は期首比。

## 設定以来の投資環境について

(2015.10.15～2025.1.21)

### ■債券市場

新興国債券市場では、国ごとの個別要因などにより、金利は国によってまちまちな動きとなりました。

当ファンド設定日から2015年末にかけては、米国の金融引き締めに対する思惑といった外部要因に加えて、各国の政治・財政状況の影響を受け、新興国の多くで金利は上昇（債券価格は下落）しました。2016年から2020年末にかけては、世界的な低金利・低インフレ環境に加え、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした各国の金融緩和などにより、新興国の多くで金利は低下（債券価格は上昇）しました。2021年以降は、原油価格の上昇や物資の供給制約などから世界的にインフレ圧力が高まり、各国で利上げが実施されたことなどから、新興国の多くで金利は上昇しました。2024年半ば以降は、各国のインフレの落ち着きや米国で利下げが開始されたことなどを背景に、新興国の多くで金利は低下に転じましたが、財政懸念などの個別要因から金利が上昇する国もみられました。

### ■為替相場

新興国為替相場では、国ごとの個別要因などにより、新興国通貨は対円でまちまちな動きとなりました。

当ファンド設定日から2016年半ばにかけては、中国の景気減速懸念が高まったことや英国のEU（欧州連合）離脱などから、市場のリスク回避姿勢が強まり、新興国通貨の多くが対円で下落（円高）しました。2016年後半から2017年末にかけては、米国大統領選挙でトランプ氏が勝利し、同氏の経済政策への期待感から市場のリスク選好度が強まったことに加え、世界的に景気が安定して推移したことなどから、新興国通貨の多くが対円で上昇（円安）しました。2018年から2020年末にかけては、米中貿易摩擦への懸念が高まったことや新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、新興国通貨の多くが対円で下落しました。2021年以降は、世界的に利上げが実施される中で日本と他国との金利差が拡大したことなどから、新興国通貨の多くが対円で上昇しました。2024年7月以降は、日銀が金融政策決定会合において緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことや、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、新興国通貨の多くが対円で下落しました。

## 信託期間中の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を通じて、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

## 信託期間中のポートフォリオについて

(2015.10.15～2025.1.21)

### ■当ファンド

信託期間を通じて「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

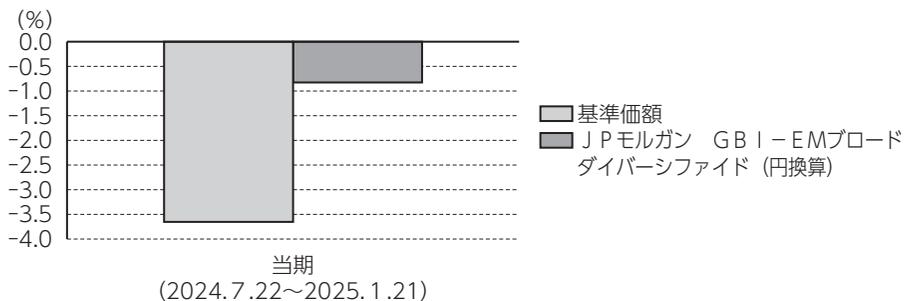
### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

- ・当ファンドでは、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。
- ・組入通貨は、欧州地域では当ファンド設定時より2017年2月まではトルコ・リラとポーランド・ズロチ、2月以降はトルコ・リラとロシア・ルーブルとしました。その後、2022年2月にトルコ・リラを除外し、ポーランド・ズロチを再び組み入れました。また3月にロシア・ルーブルを除外し、ポーランド・ズロチに追加配分しました。中東・アフリカ地域では当ファンド設定時より南アフリカ・ランド、ナイジェリア・ナイラに投資しましたが、保有していた債券の償還をもって2017年にナイジェリア・ナイラへの投資を中止して南アフリカ・ランドに追加配分しました。アジア地域ではインド・ルピー、インドネシア・ルピア、中南米地域ではメキシコ・ペソ、ブラジル・レアルに投資しました。配分については、各地域へおおむね均等になるように投資しました。
- ・債券ポートフォリオについては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り、第1期～第3期各50円、第4期340円、第5期～第15期各50円、第16期200円、第17期230円、第18期290円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2024.7.23~2025.1.21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	86円	0.750%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,488円です。
（投 信 会 社）	(39)	(0.336)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(45)	(0.392)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(3)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.009	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	87	0.759	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

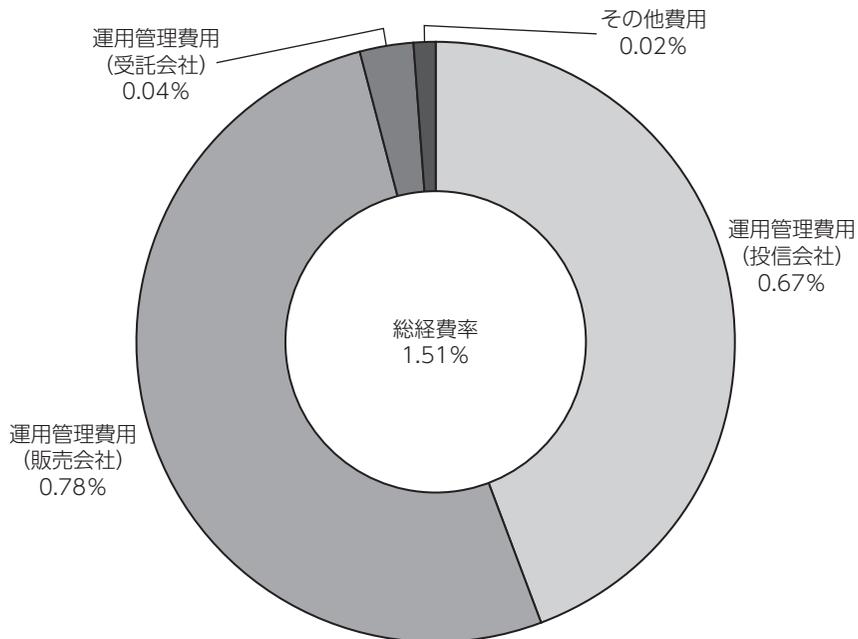
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年7月23日から2025年1月21日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	1,460	2,052	9,721	14,074

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首	
	口 数	千口
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	8,260	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年1月21日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 12,103	% 100.0
投資信託財産総額	12,103	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年1月21日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	12,103,504円
コール・ローン等	12,103,428
未収利息	76
(B) 負債	93,201
未払信託報酬	93,201
(C) 純資産総額(A - B)	12,010,303
元本	10,361,219
償還差損益金	1,649,084
(D) 受益権総口数	10,361,219口
1万口当り償還価額(C/D)	11,591円59銭

\* 期首における元本額は10,311,613円、当作成期間中における追加設定元本額は1,848,995円、同解約元本額は1,799,389円です。

\* 償還時の計算口数当りの純資産額は11,591円59銭です。

■損益の状況

当期 自2024年7月23日 至2025年1月21日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	102円
受取利息	102
(B) 有価証券売買損益	△ 255,252
売買益	23,631
売買損	△ 278,883
(C) 信託報酬等	△ 93,201
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 348,351
(E) 前期繰越損益金	1,763,767
(F) 追加信託差損益金	233,668
(配当等相当額)	( 1,722,420)
(売買損益相当額)	(△1,488,752)
(G) 合計(D + E + F)	1,649,084
償還差損益金(G)	1,649,084

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

## 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2015年10月15日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2025年1月21日		資産総額	12,103,504円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	93,201円
				純資産総額	12,010,303円
受益権口数	10,000,000口	10,361,219口	361,219口	受益権口数	10,361,219口
元本額	10,000,000円	10,361,219円	361,219円	1単位当り償還金	11,591円59銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	98,379,422	88,804,882	9,027	50	0.50
第2期	13,904,376	12,474,505	8,972	50	0.50
第3期	16,603,312	15,493,322	9,331	50	0.50
第4期	35,207,440	34,548,291	9,813	340	3.40
第5期	18,215,059	18,140,075	9,959	50	0.50
第6期	18,174,434	16,656,486	9,165	50	0.50
第7期	18,163,646	16,703,381	9,196	50	0.50
第8期	15,480,034	14,576,937	9,417	50	0.50
第9期	15,361,889	14,928,908	9,718	50	0.50
第10期	15,429,306	13,047,358	8,456	50	0.50
第11期	15,481,684	13,359,264	8,629	50	0.50
第12期	15,683,562	14,160,863	9,029	50	0.50
第13期	16,779,007	14,887,230	8,873	50	0.50
第14期	17,582,799	16,942,934	9,636	50	0.50
第15期	19,317,682	18,541,794	9,598	50	0.50
第16期	19,184,704	20,911,044	10,900	200	2.00
第17期	9,659,482	10,990,930	11,378	230	2.30
第18期	10,311,613	12,405,425	12,031	290	2.90

(注) 1単位は受益権1万口。

償 還 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 償 還 金	11,591円59銭

# ダイワ短期国際機関債マザーファンド

運用報告書 繰上償還（償還日 2025年1月20日）

（作成対象期間 2024年7月23日～2025年1月20日）

ダイワ短期国際機関債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

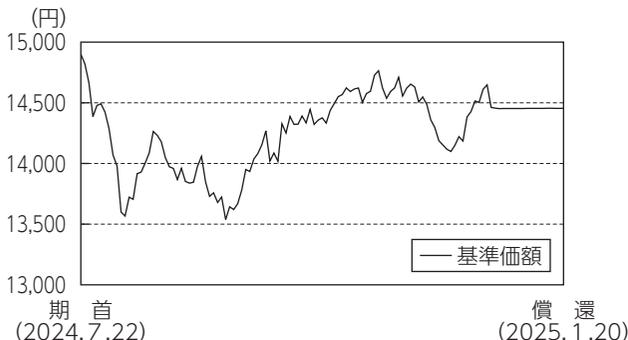
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	新興国通貨建ての国際機関債
株式組入制限	信託財産の純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		JPモルガン GBI-E M ブロード ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券先物 比率
	円	騰落率 %	騰落率 %	騰落率 %		
(期首)2024年7月22日	14,900	-	14,763	-	95.3	-
7月末	14,288	△4.1	14,251	△3.5	93.9	-
8月末	13,845	△7.1	14,001	△5.2	94.6	-
9月末	14,020	△5.9	14,278	△3.3	93.9	-
10月末	14,622	△1.9	14,676	△0.6	94.1	-
11月末	14,188	△4.8	14,276	△3.3	93.9	-
12月末	14,453	△3.0	14,812	0.3	-	-
(償還)2025年1月20日	14,454.54	△3.0	14,552	△1.4	-	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J Pモルガン GBI-E Mブロード ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット ブロード ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 償還時：14,454円54銭 騰落率：44.5%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

◆設定以来の投資環境について

○債券市況

新興国債券市場では、国ごとの個別要因などにより、金利は国によってまちまちな動きとなりました。

当ファンド設定日から2015年末にかけては、米国の金融引き締めに対する思惑といった外部要因に加えて、各国の政治・財政状況

の影響を受け、新興国の多くで金利は上昇 (債券価格は下落) しました。2016年から2020年末にかけては、世界的な低金利・低インフレ環境に加え、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした各国の金融緩和などにより、新興国の多くで金利は低下 (債券価格は上昇) しました。2021年以降は、原油価格の上昇や物資の供給制約などから世界的にインフレ圧力が高まり、各国で利上げが実施されたことなどから、新興国の多くで金利は上昇しました。2024年半ば以降は、各国のインフレの落ち着きや米国で利下げが開始されたことなどを背景に、新興国の多くで金利は低下に転じましたが、財政懸念などの個別要因から金利が上昇する国もみられました。

○為替相場

新興国為替相場では、国ごとの個別要因などにより、新興国通貨は対円でまちまちな動きとなりました。

当ファンド設定日から2016年半ばにかけては、中国の景気減速懸念が高まったことや英国のEU (欧州連合) 離脱などから、市場のリスク回避姿勢が強まり、新興国通貨の多くが対円で下落 (円高) しました。2016年後半から2017年末にかけては、米大統領選挙でトランプ氏が勝利し、同氏の経済政策への期待感から市場のリスク選好度が高まったことに加え、世界的に景気が安定して推移したことなどから、新興国通貨の多くが対円で上昇 (円安) しました。2018年から2020年末にかけては、米中貿易摩擦への懸念が高まったことや新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、新興国通貨の多くが対円で下落しました。2021年以降は、世界的に利上げが実施される中で日本と他国との金利差が拡大したことなどから、新興国通貨の多くが対円で上昇しました。2024年7月以降は、日銀が金融政策決定会合において緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことや、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、新興国通貨の多くが対円で下落しました。

◆信託期間中の運用方針

主として、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

◆信託期間中のポートフォリオについて

- ・当ファンドでは、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。
- ・組入通貨は、欧州地域では当ファンド設定時より2017年2月まではトルコ・リラとポーランド・ズロチ、2月以降はトルコ・リラとロシア・ルーブルとしました。その後、2022年2月にトルコ・リラを除外し、ポーランド・ズロチを再び組み入れました。また3月にロシア・ルーブルを除外し、ポーランド・ズロチに追加配分しました。中東・アフリカ地域では当ファンド設定時より南アフリカ・ランド、ナイジェリア・ナイラに投資しましたが、保有していた債券の償還をもって2017年にナイジェリア・ナイラへの投資を中止して南アフリカ・ランドに追加配分しました。アジア地域ではインド・ルピー、インドネシア・ルピア、中南米地域ではメキシコ・ペソ、ブラジル・レアルに投資しました。配分については、各地域へおおむね均等になるように投資しました。
- ・債券ポートフォリオについては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用)	2 (2)
(その他)	(0)
合計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況  
公社債

(2024年7月23日から2025年1月20日まで)

			買付額	売付額
外	メキシコ	特殊債券	千メキシコ・ペソ 3,453	千メキシコ・ペソ ( 10,807 3,500)
	インド	特殊債券	千インド・ルピー 29,853	千インド・ルピー ( 73,310 -)
	インドネシア	特殊債券	千インドネシア・ルピア -	千インドネシア・ルピア ( 8,385,519 -)
	ブラジル	特殊債券	千ブラジル・リアル 2,060	千ブラジル・リアル ( 4,136 -)
	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカ・ランド 10,133	千南アフリカ・ランド ( 17,653 10,450)
国	ポーランド	特殊債券	千ポーランド・ズロチ -	千ポーランド・ズロチ ( 3,999 -)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄  
公社債

(2024年7月23日から2025年1月20日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 8.75% 2025/8/18	千円 84,514	ASIAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 5.5% 2026/2/3	千円 154,329
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 4.8% 2025/2/5	53,436	EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 8.75% 2025/8/18	85,241
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 5% 2025/1/27	52,970	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 5.6% 2025/1/30	81,809
INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 7.5% 2024/12/5	27,996	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 4.8% 2025/2/5	78,714
		AFRICAN DEVELOPMENT BK. (国際機関) 5.1% 2025/11/17	64,282
		INTL. FIN. CORP. (国際機関) 6.3% 2024/11/25	55,534
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 5.08% 2025/12/15	54,498
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 5% 2025/1/27	53,132
		INTL. FIN. CORP. (国際機関) 6.75% 2024/8/27	52,713
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 6.65% 2024/7/30	30,799

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2025年1月20日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	514,760	100.0
投資信託財産総額	514,760	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年1月20日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	514,760,667円
コール・ローン等	514,757,372
未収利息	3,295
(B) 負債	-
(C) 純資産総額(A - B)	514,760,667
元本	356,123,781
償還差損益金	158,636,886
(D) 受益権総口数	356,123,781口
1万口当り償還価額(C / D)	14,454円54銭

\* 期首における元本額は443,185,643円、当作成期間中における追加設定元本額は1,751,659円、同解約元本額は88,813,521円です。

\* 償還時における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
 ダイワ短期国際機関債ファンド（年2回決算型） - 成長の絆（年2回） - 8,253,480円  
 ダイワ短期国際機関債ファンド（毎月分配型） - 成長の絆 - 347,870,301円

\* 償還時の計算口数当りの純資産額は14,454円54銭です。

■損益の状況

当期 自2024年7月23日 至2025年1月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	14,751,110円
受取利息	14,751,110
(B) 有価証券売買損益	△ 34,667,491
売買益	3,915,449
売買損	△ 38,582,940
(C) 先物取引等損益	△ 4,923
取引益	△ 4,923
(D) その他費用	△ 78,904
(E) 当期損益金(A + B + C + D)	△ 20,000,208
(F) 前期繰越損益金	217,167,626
(G) 解約差損益金	△ 39,237,385
(H) 追加信託差損益金	706,853
(I) 合計(E + F + G + H)	158,636,886
償還差損益金(I)	158,636,886

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。